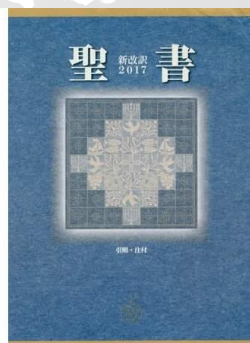
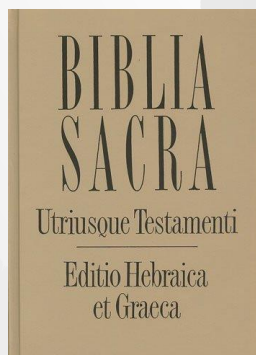
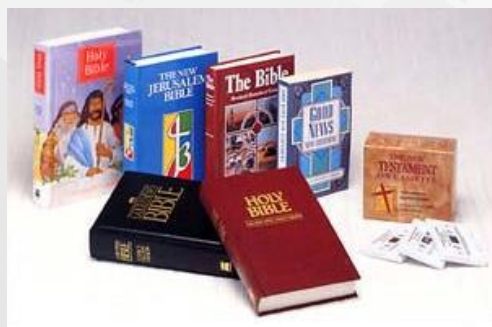


聖書 Q & A



ヘブル語旧訳+ギリシャ語新訳



恵比寿マンディ

2021年2月15日

Q. キリスト教信者の間で、様々な「聖書観」が見られます。それは、聖書に対する姿勢に由来しているものと思われます。聖書に対する姿勢にはどのようなものがあるか、教えてください。

A. 聖書に対する姿勢は、その人が所属する教団・教派によって異なってきます。

1. 合理主義	特徴: 聖書よりも、人間の理性を上に置く。	
(1) 極端な合理主義	神の啓示の可能性を否定する。	①無神論
	*宇宙存在の根源としての神の存在は認める。 *しかし、その神が人類の歴史に介入するとは認めない。	②不可知論
		③理神論
(2) 穏健な合理主義	神の啓示の可能性を認めるが、その価値を判断するのは人間の理性であるとする。	①近代主義 (モダニズム)
		②自由主義神学
2. 神秘主義	特徴: 聖書よりも、経験を上に置く。	
	*神の啓示は通常の方法では与えられない。 *聖書は神のことばであるが、それ以外にも霊的真理はある。	①汎神論
		②ヨガ
		③クエーカー教徒
		④トマス・ア・ケンピス

3.ローマ・カトリック	特徴:聖書よりも、教会を上に置く。
	(1)聖書は教会の作品である。
	(2)聖書はあいまいに書かれている。
	(3)最終的な権威である教会が、聖書の意味を明らかにする。
	(4)教会の伝統に重きを置く。
4.新正統主義	特徴:聖書よりも、「神との出会い」体験を上に置く。
	(1)聖書は「神のことば」を証しするものであるが、過ちを含んでいる。
	(2)聖書の中から「神のことば」を見つけ出すことが、人間の役割である。
	(3)そのためには、「神との出会い」が必要である。
	(4)どれが「神のことば」であるかについては、意見の一致がない。

5.異端	特徴:聖書よりも、別の聖典を上置く。		
	聖書の靈感を認めるとともに、別の聖典の靈感も認める。	①エホバの証人	新世界訳聖書
		②末日聖徒イエス・キリスト教会	モルモン経
		③世界平和統一家庭連合	原理講論
	④クリスチャン・サイエンス	メリー・ベーカー・エディ著「科学と健康——付聖書の鍵」	
6.正統主義	特徴:聖書は、信仰と生活に関する唯一で最終的な権威である。		
	(1)聖書は、誤りなき神のことばである。		
	(2)聖書の原典は、靈感を受けて書かれており、何の誤りも含まれていない。		